

第1707回
**例会
プログラム**
2001・8/30 No.9



WEEKLY REPORT

友愛

例会場：東山荘(講堂)

開会点鐘：18:30

ロータリーソング：我らの生業

内容：教員海外研修報告

国際奉仕委員会

会員慶事

・会員誕生日 9月1日 臼井 良太君
・夫人誕生日 8月31日 小野 篤之君 ご夫人 茂 子様
8月31日 土屋 蘭正君 ご夫人 卓栄子様
9月4日 根上 眞一君 ご夫人 淑 子様

次回
9月6日の
例会

1708回 12:30点鐘
東山荘(記念館)

会長挨拶

長 田 吉 弘



故 山中静樹様の通夜及び告別式に多数ご参列いただきまして有難うございました。

故人のご冥福をお祈りいたします。

本日は、新世代のための月間に因んでということで「私の主張発表」を二人の少年に卓話をさせていただきます。

お二人の紹介は、後程青少年奉仕委員長からさせていただきますが、ようこそおいでいただきました。

昨今、青少年の犯罪や幼児の虐待がテレビ・新聞で連日報道されていますが困った事です。

当御殿場ロータリークラブでは、教員海外派遣に対する助成、又はローターアクトの提唱等を行っていますが、少年問題には直接携わっていないのが現状です。以前には、小学生を対象にサッカー教室、野球教室、そして中学生の就職組を対象に企業見学、及び市役所訪問等をして作文を文集にしたこともあります。

当クラブの会員の中には、小中学校のPTAの役員、会長をした方が大勢いますが「のど元過ぎれば 熱さを忘れる」の例えの通り、ちょっと無関心になっているのではないのでしょうか。私もPTAの会合で「他人の子供も、自分の子供のように叱りましょう」と挨拶したことがありますが、自分の子供が成人した今ではそのような気持ちも起こらなくなってしまっています。

今日の二人の発表を聞かせていただいて、昔のように青少年に関心をもつように心がけたいものです。

第2620地区御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日 12:30 ~ 13:30

例会場・事務局/YMCA東山荘

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

静岡県御殿場市東山1052

会長/長田 吉弘 会報委員長/芹澤 正明

友愛・FRIENDSHIP



9月 御殿場RC例会プログラム

月日	時間	会場	内容	担当及び卓話者
9/6 (1708回)	12:30	東山荘(記念館)	青少年交換 あれこれ	2620地区 青少年交換(委)会長
9/13 (1709回)	12:30	東山荘(講堂)	クラブフォーラム(第1回) ・「創立35周年について」 ・「規定審議会決議の解釈と 対応について」	35周年実行(委)会長
9/20 (1710回)	12:30	消防庁舎 (東田中・本部)	防災について	御殿場市・小山町広域行政組合消防本部 担当官 渡辺秀晃様
9/27 (1711回)	12:30	東山荘(記念館)	御殿場プレミアム・アウトレット 「オープン1年が過ぎて」	チェルシー・ジャパン(株) 御殿場支配人(予定)

8月23日のスマイル

・富士山一斉清掃には多数の会員の皆様に参加していただき、ありがとうございました。
山崎委員長さんはじめ、社会奉仕委員会の皆様ご苦労さまでした。

会長・幹事

・なんとなく出す気になりました
嶋田泉太郎

前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
63名	58名	50名	86.21%	100%

欠席者(8名)

・石川又英君・勝又洋君・勝又敏樹君・小早川豊一君
・小野寛幸君・生野旭君・芹澤正明君・高村繁男君

メーキャップ(8名)

・8月15日 長 泉 神谷 高義君
・8月10日 沼 津 勝又 敏樹君
・8月3日 裾 野 村上不二哉君
・8月21日 箱 根 根上 陽一君
・8月20日 合同委員長会 鈴木 崇司君
・8月4日 山 中 湖 高村 繁男君
・8月13日 合同委員長会 内海 宣彦君
・8月4日 沼 津 東 小野 篤之君

わたしの未来は勉強から始まる



御殿場中学校3年 杉山かおり

「わたしは一体何のために勉強するのだろう。」

最近わたしが抱いた疑問です。わたしは中学校に入学してから、何回、「勉強しなさい。」という言葉聞いたでしょう。一番うるさいと思ったのは、2年の1学期の中間テストの時でした。この時は休日の度に友達と出かけていて、勉強なんて何もしてませんでした。当然結果はさんざんで、両親にひどく怒られました。自分が悪いとは分かっています。が、何か心にひっかかるものがあり、素直になれませんでした。今までは「勉強しなさい。」と言われても、何の疑問を抱くこともなく言われる通りに勉強してきました。しかし、「なぜわたしは勉強しているのだろう？ 何のためなのだろう？」という疑問が、わたしの心の中に芽生え始めました。この疑問の答えをどうしても見つけたくて、同じクラスの子に、

「ねえ、わたし達って何のために勉強してるの？」

と投げかけてみました。するとその子は戸惑うことなく、

「テストのためじゃない？」

と答えました。他の人にも聞きましたが、返ってくる答えは全く同じものでした。

確かに、中学3年間で勉強してきた成果は受験やテストに表れます。でも、この考えは本当に正しいのでしょうか。わたしは思うのです。学校とは、立派な大人になるための所ではないのでしょうか。勉強とは、テストや入試よりも、もっともっと意味のあるものではないかと思うのです。

孔子の『論語』を知っていますか。そこには学習して繰り返し復習することの楽しさ、学問によって人格を向上させる大切さ、が書かれています。勉強することが楽しいなんてすごい人だ、同じことを繰り返し復習するなんて、よっぽど勉強に興味を持っている人だなと思いました。

わたしにも関心のある教科があります。社会です。ある日の社会の公民の授業で、先生がおっしゃいました。「日本はなあ、福祉的設備が少ないんだよ。障害者やお年寄り、誰もが安心して暮らせる社会を作らなければならないんだ。」これを聞いて、わたしも福祉の仕事に関わって、誰もが安心して暮らせる社会を作りたい、と思ったのです。そしてその思いはだんだん、ヘルパーになりたいという夢に変わっていったのです。それからは社会の授業がますます楽しくなり、もっと学習したいと思うようになりました。

ここでわたしは考えました。わたしが今の夢を持ったのは、社会の授業があったからです。このことから、わたし達が今勉強しているのは、一教科でも興味を持てる分野を見つけ、それを将来の夢に役立てるためではないのでしょうか。「興味を持てる事を勉強するのは本当に楽しくて仕方がない。」それが孔子の言う学問の楽しさなのだと思います。

近年、フリーター、つまり職につかない若者が増加していると、ニュースで見たことがあります。わたしの考えでは、将来の夢が分からずに勉強させられてきた人が、大人になった今でも夢を持たずにいるから起こる現象ではないでしょうか。夢がないから真剣に勉強できる教科もなく、勉強を面倒だと思いやめてしまおうか、無理に続けて受験が地獄のような世界になってしまうのでしょうか。

そう考えると、今わたし達がこなしている勉強の目的も、大きく考え方が変わってきます。興味のあることを学習するには、一つの分野だけの勉強でいいという訳にはいきません。いろいろな知識や考え方があってその分野が深まるのだと思います。だから当然、学校で学んでいること全てが大切なのです。

「わたし達はなぜ勉強するのか？」

その答えは、

「自分の興味のある夢を見つけるため、そしてその夢を育て、未来の土台にするため。」だとわたしは思うのです。これからはわたしなりに考えたこの考え方で、『勉強』というものを見つめ直そうと思います。自分の夢を持って、それに向かってキラキラ輝いている大人になるために。

勇気を出してコミュニケーションを!!



御殿場西中学校3年 窪田真也

Can you speak English?

国際化が進む現在、英語は日常の会話の中で頻繁に使われています。

中学校に入るとすべての人が英語を学習するようになり、最近では、少しでも早く始めた方が身につくということで、英語の学習を取り入れた小学校もあるそうです。

ところが、一步学校から外に出るとどうでしょう。外国人から日本人に話しかけることはよくあるのに、日本人から外国の人に話しかけることはほとんど見かけません。これはどうしてなのでしょう。

以前、僕が駅でバスを待っていた時のことです。乗り場の分からない様子の外国人が、うろうろしながら、何人かの日本人に話しかけていました。しかし、まわりにいた人たちの中で、自分から応じてあげる人はいませんでした。

Excuse me. などと路上でいきなり外国の人に話しかけられたりすると、多くの人が慌てて目をそらしたり、困ったようなら笑いを浮かべて「やめて」とばかりにパタパタと手を横に振って逃げ出そうとします。よりによって何で自分に話しかけてくるんだとまるで運の悪いことに当たってしまったような顔をする人もいます。これはとても恥ずかしいことだと思います。そんな態度をとられた相手はどんな気持ちになるのでしょうか。たとえ英会話に自信がなくても、逃げてしまうのは相手にとても失礼なことです。

英語がこれだけ使われているのに、日本人は自分からなかなかコミュニケーションをとろうとしないのです。英語の単語はたくさん知っているのに、自分の発音が相手に通じなかったらどうしよう。そんな気持ちが「逃げ」の姿勢を作ってしまうのです。

僕の友達の例をお話したいと思います。彼は英語があまり得意ではありません。授業でもあまり目立つ方ではありませんでした。

ある日、彼が僕に

「真也は英語の授業にいつも積極的だけど、どうしたらそんなふうになれるのかな。」と聞いてきたのです。

「とにかく恥ずかしがらないで話してみればいいんじゃないの。」

僕は何気なく答えました。すると彼は職員室に行こうというのです。一体どうしたのだろうと、いっしょについて行きました。彼が向かったのは、ALT（外国人の英語の先生）のL・B（ロス・ブランドレー）先生のところでした。そして、What color do you like the best? Do you like to play baseball? などと授業で学習したことを思い出して、一生懸命自分から英語で話しかけたのです。緊張しているようにも見えましたが、笑顔でとても楽しそうでした。

（そうか、だからさっきあんなことを聞いたんだ。英語頑張ってるんだな。）

それからの彼は、英語の授業がとても楽しそうです。また、ときどき授業以外でもロス先生と会話しているのを見かけるようになりました。

外国人と話すとき、きっと相手だって上手な英語ばかりが返ってくるとは思ってないはずです。僕たちだって、例えば外国人がカタコトの日本語でも話してくれると何とか理解しようとするでしょう。たとえ間違っているでも「日本語がお上手ですね。」と言ってあげたくなります。そこからコミュニケーションが始まるのではないのでしょうか。失敗を恐れては何もできません。

これから僕ももっと積極的に、多くの人と英会話をしてみようと思います。きっと自分に自信を持てるようになって、多くの外国人と会話が楽しめるようになるかもしれません。

世界中には色々な宗教、風習、生活の違いがあり、独特の文化があります。いつの日か「言葉」を窓口として、誰とでもコミュニケーションがとれる世の中が訪れたらどんなに素晴らしいことでしょう。

戦争や経済摩擦など、文化や考え方の違いで起こる暗いニュースの多いこの世の中。そんな世の中が英語を通して、平和になることを僕は夢見ています。そのために今の僕達にできること、まず「勇気を出して」英語を話してみましょう。英語で心を伝えてみようではありませんか。

Don't be afraid to speak English. Let's speak English.